

## 観 測 案 内 (12月)

### 木 邊 生

編輯係りから、望遠鏡を持つて居る方の爲めに、少し變つた毎月案内を書く様に要請を受けた。以前故中村が「観測帳」と云ふのを戴せられて居た事がある。今再び其れを眞似る事になつたのだが、少し型式を變へて、特にアマチュア<sup>1</sup>の観測者中心にして行きたい。暫く拙筆を運ぶ……………

**12月** 野も山も木枯に吹き荒され、中部地方より北の山山や北海道は已に雪に蔽はれ、やがては全国的にも白雪を迎へる。急速に寒さを感じて、夜間の観測には防寒が必要となる。5度以下の風のある日は、手先がシビレて来る。其れが0度に降ると、無風でも辛い。

**天候** 氣壓配置が西高東低であれば、「空つ風」はあつても、表日本は概して晴れが多い。黄海邊に出來た低氣壓が日本海に出ると急速に發達して、其れがオホホツク海に抜ける頃には、立派な大陸旋風に迄成長する。すると北滿の高氣壓との間に30—40ミリ以上の氣壓傾斜が出來て、猛烈な西風が吹き付ける。裏日本では山間は勿論の事、月の半ばを過ぎると平地まで暴風雪となつてしまふ。日本海沿岸では此處<sup>2</sup>、3ヶ月は望遠鏡に親しめない。

**シーイング** 悲觀すべき状態にある。5以上には減多にならないだろう。然し星の冴えは秋に等しい。且つ、露(霜を含めて)は反つて風があるために減少する。だから寒いさへ辛棒すれば、變星や流星の観測には適しやう。

**太陽** 9—10月には一時的の極大に達したが、12月には寧ろ、一時的に減少するのではあるまいか。日中もシーイングは悪い。時に雪雲の通る頃は齒の缺けた鋸で切つた光球の様になる。太陽が南を素通りするから、観測者は9—10時頃までに一應狙ひを付けて置くがよいだろう。

**遊星** 金星が宵の明星らしくなる。然しこの星も南の方に遠慮して居るから観測好機と迄は行かない。土星は再び輪が消失する。算定は日本時間では29日である。この日から太陽は輪の面を南へ移る。恐らく5cm以下の望遠鏡では、20日過ぎになると見難くなつて来るだろう。10cm級ならば25日迄は、見るのにさして困難ではなからう。

**小遊星** 10等以上の明るいものが6個衝に來る。即ち 5, Astraea, 89. Julia, 11. Parthenope, 79. Eurynome, 10. Hygiea, 4. Vesta である。Vesta は12月

31日衝となり、光度は6.9等。位置は左記の通りである。

日	附	赤 經	赤 緯
12月10日		7時 2.7分	+20°54'
18日	6	55.6	21 24
26日		47.2	21 55
1月 3日		38.2	22 27
11日		29.4	22 57
19日		21.4	23 25

この表によつて、一度も  
Vesta を見た事のない人は  
見て置くのもよからう。

**變光星** 新星が5個も10月には揃つた。内2個が本邦で発見されたのは喜ばしい。10月末の様子

Nova Her 依然7等級。色青白い。スペクトルは星雲線のみ明瞭。

Nova Lac. 急に減光中。9等に降つた。連続スペクトル消えかかる。

Nova Aql I この星は幾分變則である。7—8等。減光は遅い。

Nova Sgr 減光急。8—8.5等。

Nova Aql II 8等。輝線既に明瞭。以上4星は橙赤色である。

**ミラ** 10月下旬極大。約3.3等。12月には減光中だが、未だ5等位だろう。この星はスペクトル型は M。詳しくは M6, 更に正確に云へば M6ev である。e は輝線のある星であつて、輝線は新星の占有物ではない。其れも、O、や B の、若い、高温の星ならばともかくも、A、F、G、K、には殆んどなくて、M、N、S の赤い低温星には可なり多い。ミラは其の代表的な星である。所が其上この星は光度が變ると共にスペクトルも變る。即ち v と書くのがそれである。敢て變光星に限るとは云はないが、このスペクトルの變化する星は、近時觀測の好材料に祭り上げられて居る。何故光度變化をするかは、表面温度の變化に依る事は解つても、視線速度の變化が  $\delta$  Cep 型星と反對である事や、この低温での輝線を如何に説明するか、難關は今だに横はつて居る。猶ミラは巨大なそして稀薄な星だが、10.5等の白色矮星の伴星を持つて、其れがシリウスの伴星以上に高い密度である等、どこまでも興味深い星である。この星は離角0.9秒角、スペクトルは B8。

最後に昨年12月の記録。

平均気温 6時 +2.4°C 21時 +4.0°C

平均雲量 6時 5.2 21時 6.4

太陽黒點 1日平均相對數 76.2。觀測日數 24日。無黒點日 0。(以上)